

岸田政権の「原発回帰」暴走政策を阻止する市民公開講座

2月25日(土) 午後2時～

福井市フェニックスプラザ4階会議室 (参加費無料)

**フクシマ原発災害を繰り返すな！
未来の子どもたちに負の遺産を残すな！**

講師：笠原一浩さん (弁護士)



生まれ：1976年 福井市

専門：地球物理学

役職：福井弁護士会 公害対策・環境
保全委員会委員長、日本弁護士
連合会 公害対策・環境保全委
員会 副委員長、高浜原発 1~4 号
機・美浜原発 3 号機 福井原発訴
訟代理人

講師：山本富士夫さん (福井大学名誉教授)



生まれ：1940年 鯖江市

専門：流体力学、エネルギー変換工学、
機械工学

役職：日本科学者会議代表幹事、
さよなら原発福井県集会共同代表
(第1回2012年—第12回2023年)

スリーマイル島事故（米、1976年）、
チェルノブイリ事故（ソ連、1986年）、
フクシマ事故（日本、2011年）では、
原発環境は広域にわたりひどく放射能
汚染され、多数の放射線被ばく者が出
ました。彼らとその家族は、被ばく障
害に今も将来も苦しみます。

フクシマ原発災害からの復興も進ん
でいない中で、岸田政権は、崩壊した
はずの原発安全神話のもとで地球温暖
化解消とか安価な発電コストとかウソ
をついて、老朽原発再稼働や新型原子
炉の開発をめざす「原発回帰」を始め
ました。

講師の笠原弁護士は、司法の立場から
高浜原発と美浜原発の運転停止を求める
仮処分裁判の申立人の代理人を務めてい
ます。原発の危険性を法的に明らかにし、
原発裁判で勝利するためには老若男女多
くの市民の理解と支援が必要不可欠であ
ると訴えます。

山本富士夫講師は、科学者の立場から
原発災害を引き起こす4大トリガー（①
自然災害、②人為ミス、③軍事テロ、④サイ
バーテロ）について具体的な事例を挙げ
ながら説明します。

岸田政権の「原発回帰」政策の暴走を
阻止するために市民連帯運動を強めま
しょう。

主 催：日本科学者会議福井支部 連絡先：山本雅彦、masahiko@mbp.nifty.com
Zoomで参加の方は：●ミーティングID: 835 1943 3129 ●パスコード: 223523 (携帯 090-4323-4199)
募金のお願い：郵便振込口座番号 00710-9-17967 日本科学者会議福井支部
支部ホームページ：<https://jsafukui.net/> (2023年2月発行)